



福吉 里加子さん

NPO法人本と人とのネット・泗水代表であり、泗水図書館の館長。司書になり図書館で働くことが学生時代からの夢だったそうで、平成9年に図書館が建てられた当初から働いています。広い館内には、約70,000冊の本などがあり、たくさんの方が利用しています。ビジネス支援などのテーマに沿ったコーナーを毎月設け、それに合った本を集めるなど使いやすい工夫がされています。また、映画化された本の紹介もしており、「映画化作品」というシールを貼ったり、これから公開される映画の原作も調べて並べています。

本を詰め込む図書館から 情報を発信する図書館へ

図書館にはたくさんのお本があり、そこには情報が詰まっています。それだけではありません。これからの図書館は、情報を発信することを始めました。

「図書館のあるまち

菊池市には、1つの図書館と3つの図書室があります。また、各小中学校にも図書室があり、皆さんも一度は利用したことがあるかもしれません。

図書館・図書室には、一般書・児童書など併せて約100,000冊の本や、新聞・雑誌、視聴覚資料（CD・ビデオ・DVD）などがあります。また、図書館では館内資料を使った子育てや就職コーナーなどを設けています。関連する本をまとめて置くことで、利用者が使いやすい環境をつくるのです。おはなし会や古典を楽しむ講座など、「読む」以外にもいろんなことに挑戦しています。

「赤ちゃんからでも図書カード

図書館の本やCDを借りるときに必要な図書カード。どの図書館・図書室でも、登録していなければ本を借りることができません。この図書カードには年齢制限がありません。生まれたばかりの赤ちゃんから高齢者まで、菊池



小さな子どもたちも、自分だけの図書カードで好きな絵本を借りていきます。

市内に住んでいるか通学・通勤している人であれば、誰でも登録して持つことができます。

絵本や児童書には、出版されて長い年月を経た今でも、子どもたちに読まれている本がたくさんあります。あなたが子どものころに読んでもらった本が、今でも読まれているかもしれません。親子で「子どものころに読んでもらった共通の本を見つける」そんな楽しみ方も図書館にはあります。

館長が語る図書館の魅力 「図書館っていろんな情報が溢れてるんですよ」

ここは、顔が見えるお茶の間のような雰囲気があって、親しみやすい図書館だと思っています。毎日新聞を読みに来る人や毎週本を借りに来る人もいて、見かけない日は「どうしたのかな？」って心配になったり、まるで近所の触れ合いみたいでしょ。学生だった子が、就職や結婚して報告に来ることもあるんです。本場にうれしいですね。長く変わらない司書がいるからこういう触れ合いができるのかもしれない。仕事をしていく中で、司書の役割がとても大切なことに気づきました。だから、図書館に指定管理者制度が導入されると聞いて、せっかく続いてきた地域との関係をゼロにしてしまうのはもったいないと思ったんです。

図書館の役割ってすぐに結果は出ない。10年くらいはかかると思います。今年、子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣賞をいただいたのですが、改めて続けることの大切さを実感しました。ここは移動図書館がないので、いかに図書館に来てもらえるかなんですよ。そのためにいろんな工夫をして、本の展示や情報を発信しています。本を通して、利用者とカウンター越しに築く信頼関係って大事だと思います。だから、利用者の声を聞いて平等なサービスに努める。これは開館当時から変わらず続けていることです。



- ① 泗水図書館は泗水ホールのすぐ隣にあります
- ② 七城公民館図書室は公民館に入ってすぐ右手奥にあります
- ③ 旭志公民館図書室は公民館の入口右手にあります
- ④ 中央公民館図書室は平成21年に場所が変わり新しくなりましたが、本庁・総合支所のすぐ隣にあり、開館時間であれば誰でも利用することができます。



もちろん、図書館を利用する権利は小さな子どもにもあるから同じように接します。

図書館利用教育を子どものころにきちんとしておくことは、その後の人生に役立つ大切なことだと思います。今年の夏、図書館ではおはなしマラソンを計画しています。開館当時からおはなし会を毎月2回、ボランティアの人たちにお話ししてくる人がいる「図書館で毎日お話ししてくれる人がいる」そんな環境を作りたくて、菊池市内で活動している読み聞かせボランティアグループに協力を呼びかけたくです。それだけでなく、皆さんの人が協力してくれることになりました。本場にありがたいと思います。

そのほかにも、図書館で写真や絵の展示をしたり、イベントで地元の学生が、ピアノとサックスの生演奏をしてくれて、利用者にすごく喜んでくれたことがあります。図書館って静かな環境も大事だけど、こういうことをやれる場所も大事かなと思います。今年度は、菊池市では図書館と3つの公民館図書室で、図書サービスの充実を目指した計画が進められています。ここが本を借すだけでなく、いろんな人とつながっていきける場所にしていきたいですね。

小さかった子どもが成人して結婚して家族をもって、今度はその子どもと一緒に図書館に来てくれる。そんな場所って少ないから、図書館がそんな存在になればいいかなと思います。